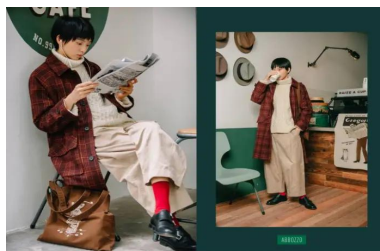


2023年11月号 国際交流員レポート
蒋豪（中国）

赤だらけになる 中国の年男と年女



日本に「年男・年女」があるように、中国でも自分の干支の年を迎えた人を「本命年」といい、まさに「赤だらけ」になってその1年を過ごすこととなります。今回はそんな中国の「年男・年女」について紹介していきます。



日本では「年男・年女」は、自分の干支が代表となる年なので、その年の歳神様の加護を多く受ける事ができ、「縁起の良い年」とする地域が多いです。実際、正月の飾りつけや節分の豆まきなどは「年男・年女」が担うことから、全体的に「縁起が良い」ととらえられていることがわかります。一方、中国では「縁起の悪い年」としており、日本における「厄年」のような扱いになっています。

そんな厄災から身を守るため、中国の「年男・年女」たちは邪気を払う色とされている赤色のアイテムを身につけます。毎年、春節前の時期になると、中国のデパートの下着売り場などが赤一色になるのはこのためです。赤色の下着一式から赤い靴下、赤いベルト、赤い紐を使ったアクセ



サリーまで何でもあります。律儀な人になると1年中、赤い下着を着ています。

とはいえ、ますますオシャレになってきている若者たちしてみると、そんな赤い下着やベルトなどはダサいので着ないという人が多いです。中にはこういった風習は全く信じないという人もいるものの、携帯ケースやアクセサリを赤にしたたりして、オシャレに取り入れている若者も多いです。



なぜなら「中国紅」という色を表す言葉もあるくらい、赤という色は中国人にとって世代を問わずめでたい色であり、人気の色だからです。

伝統芸能である京劇で赤い隈取

（紅臉）は関羽などの正義漢の役が多く、ネットの人気者は「網紅」と言い、「紅红火火」といういかにも燃えだしそうな中国語の言い回しは経

済的に豊かな生活を表しています。今年はそのような赤いアイテムを身につけ「燃えるような」1年を過ごしてみたいかですか？



中国本命年一身红

像日本有“年男，年女”一样，在中国迎来自己属相年的称为“本命年”，会度过“一身红”的一年。这次介绍一下中国的“本命年”吧。



在日本很多地区还是认为“年男，年女”在自己属相年会受到岁神的庇护，是“吉利的一年”。而从正月时的装点，立春前天的撒豆子等等活动，都是由“年男，年女”承担的来看，可见整体来看还是认为是“吉利的一年”。而在中国则认为是“不吉利的一年”，会像对待日本的“厄年”一样采取对策。

为了保护自身不遇到灾难，在中国“本命年”时会身穿红色的服饰来辟邪。每年到了春节前，商场的内衣专柜等一片红色就是



这个原因。从一套红色的内衣，到袜子、皮带、带绳子的首饰等，全是一片红色。迷信的人一整年都会穿着红色内衣。

不过很多越来越注重时尚的年轻人还是觉得红色内衣、皮带这些太土气了，不想穿。其中也有很多完全不



信这些风俗的人，不过还是用红色的手机壳、首饰，当作时尚的配饰。

这也是因为红色对中国人来说是不论年龄，大家都喜欢的喜庆的颜色，还有“中国红”这样的词，可见是非



常受欢迎的颜色。



传统艺术京剧中，红色脸谱多表示关羽这样的忠义之士，网络名人称为“网红”，还有“红红火火”这样形象的词汇，用来表达富足的生活。

今年您也尝试一下红色的服饰，度过“红火的”一年吧？